



文星芸術大学  
附属中学校・高等学校  
〒320-0865  
宇都宮市陸町1-4  
電話(028)  
636-8000(中学直通)  
636-8585(高校直通)  
http://www.bunsei-art.ac.jp  
発行 教務部・学報編集係

# 金環日食の天体ショーに歓喜して

文星芸術大学附属中学校・高等学校長 上野憲示



五月二十一日の月曜日、幸運にも晴れ渡った宇都宮の空の下、六時半ごろから金環日食の天体ショーを生徒とともに満喫した。見事な神秘のリングに歓喜の声が上がった。日本列島の至るところで一斉に減光グラスをかざして太陽に注目した今回の金環日食。これほどたくさんの人々が同時に空を見上げることはそうはないだろう。宇都宮で次に金環日食が見られるのは三百年後になるそうだ。

以前から言われていた通り、月が太陽を隠し、細いリング状の金環になると、あたりが薄暗くなり、気温も下がって涼しく感じられた。貴重な体験であった。

金環日食で騒いでいたのは何も人間だけではない。猿が木の上方に集結してざわめいたり、アフリカ南部に生息するケープペンギンが太陽の方向に立ち並んだり、犬や鳥が一斉に騒ぎ出したりと、特異な行動をとる動物たちの姿も確認されている。

太陽と月の運行は地球に生息する生き物たちへ多大な影響を与えている。人の気持ちは天候に左右されるし、地球と月の引力は潮の

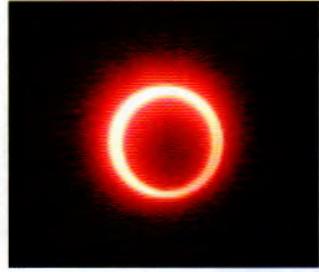
干満を生み出す。ある種のカニは満月の夜に産卵し、人の出産は満月になる時が多いという。海が月の影響を受けるのと同様に、水分が体の大部分を占める人体もその影響を受けるようだ。

太陽は、生き物が生きていく上で欠かすことのできない存在だ。太陽の熱で水が蒸発して雲になり、雨を降らせる。太陽の光とそれをもたらす恵みの雨によって、植物は我々に酸素を供給してくれる。太陽のエネルギーによって我々が存在し、今がある。

金環日食の騒ぎも終わり、減光グラスで太陽を見る者はいなくなつた。しかし、太陽は我々が見ていようと見

文星芸大附now!  
は、平成17年4月に「文星芸術大学附属中学校」の開校に合わせて発行されました。

ていまいと、相変わらず我々を照らし続けている。生徒諸君も、誰かに照らしてもらいのをただ待つのではなく、太陽のように自ら世の中を照らす存在であつてほしいものである。



2年2組 加藤大樹撮影



**上野基房先生ご逝去**  
本学園の名誉学園長で、前理事長上野秀文先生のご実弟である上野基房先生が、去る四月二十八日にご逝去されました。

基房先生は、秀文先生とともに学校経営にあたられ、本学園の礎を築かれました。心からご冥福をお祈りいたします。

## 中学校行事予定

- ▽六月
  - 1日(金) 衣替え
  - 8日(金) 第102回創立記念日  
社会科見学
  - 9日(土) ボランティア実践
  - 15日(金) 宇河中教研教科外部会  
(授業四校時まで)
  - 16日(土) 体育祭
  - 22日(金) 学習塾対象入試説明会
  - 23日(土) 総合的な学習
  - 30日(土) 学習会  
上野記念館見学
- ▽七月
  - 2日(月)・3日(火) 期末考査
  - 7日(土) 総合的な学習  
保護者懇談会
  - 11日(水) 中大連携授業
  - 20日(金) 第一学期終業式

## 高校行事予定

- ▽六月
  - 1日(金) 衣替え
  - 1日(金)・2日(土) 総合学力  
マーク模試(英・普三年)
  - 8日(金) 第102回創立記念日  
新入生歓迎校内体育大会
  - 8日(金) 実用英語技能検定(一次)
  - 9日(土)・11日(月)・12日(火)  
保護者会
  - 13日(水) 校内体育大会予備日
- ▽七月
  - 2日(月)・5日(木) 期末考査
  - 6日(金)・7日(土) 総合学力  
記述模試(英・普三年)
  - 6日(金) 総合学力テスト  
(普一・二年)
  - 7日(土) 総合学力テスト  
(英一・二年)
  - 8日(日) 実用英語技能検定(二次)
  - 20日(金) 第一学期終業式

1 p	<巻頭言 学校長より>
2 p	<高校 新年度を迎えて>
3 p	<高校 生徒会からこんにちは>
4 p	<高校 輝け!! 文星健児>
5 p	<中学 新年度を迎えて>
6 p	<中学 文星中に入学して>
7 p	<中学 宿泊体験学習>
8 p	<文星 フォトギャラリー>

高等学校

新年度を迎えて

時を刻む



副校長 富田 誠

二〇一二年は、四の倍数の年で閏年である。閏年には夏季オリンピックが開催される。今年、ロンドンが会場で、代表選手の選考会が大詰めを迎えているが、中には高校生も含まれている。彼らには夢を超えた志があり、日本代表を現実のものとしたのだ。

昨年本校は創立百周年を迎え、今年も百一周年の記念にあたる。百一周年の記念行事は予定していない。というのも、キリがよい十年、五十年、百年などを記念の年とすることが通例だからだ。だが、それでよしとしていて良いのだろうか。

物事を達成しようとするとき、PDCAというサイクルを常に考え、スパイラルアップを図ることが今求められている。そのときの

サイクルの周期は、実は短いほうが良いとされている。目標達成の時を記念の時とするならば、それは一日毎であったり、一年毎であったり、十年毎であったりしてよい。自分のPDCAサイクルを考え、記念の時を刻みながら生活することもまた、楽しいことだ。

チャレンジ



教務部長 三上 裕

ゴールデンウィークも終わり、新しいクラスにも慣れ、真剣に学校生活に取り組める時期に入りました。

さて、私たちは日常生活の中でどれだけ「チャレンジ」を意識しているでしょうか。行動する前に「無理」「出来ない」「やれない」等、チャレンジする前に諦めていないでしょうか。人には得意、不得意はありますが、実行せずに、出来る出来ないを決めてはいないでしょうか。人間は成長していくその年齢・段階において様々なチャレンジをすることが必要です。先日、関東大会出

場クラブの壮行会が行われました。選手たちは、チャレンジした結果、関東大会出場につながったのです。そして、関東大会では、また新たな目標にチャレンジする。結果を恐れずに自信を持って戦って欲しいと思います。本校には、全力主義の「ライオン主義」があります。何事にも全力で、そして、今しか出来ないチャレンジをしてください。

一年生諸君へ



第1学年主任 千代野 仁

成功のためには、能力と同様に目の前にあるものの取り組む姿勢が大切である。個性を認め合うことは、現実の生活ではそうたやすくはないが、君たちには君たちだけが持っている素晴らしい能力があるはずだ。不安とか迷いの世界を抱えつつ、そろそろ各々のエネルギーが見えてきた君たちへのメッセージは...もし自分に能力がないと思っても、しっかり自分を管理してみよう。たくさん話をし

よう。

何か課題が見つかったら、それは自分にとって大切なものだから、斜めから見ずに正直に素直に真つすぐに勇気を持ってチャレンジするべきだ。何かが見つかるはずだ。そこに光がある。光は生きる力となる。空は歩いたり走るものではなく、若い翼を大きく広げて飛ぶもので、今、与えられた、そして自分にとって恵まれたであろう環境で、自分自身のために元気に生きていかななくてはならないし、進まなくてはならない。さあ、一緒に頑張りましょう。

平成二十四年度 担当教員

校長	上野 憲示
副校長兼教頭	富田 誠
参与(進学統括)	牧島 勝利
第二教頭	大木 廣巳
統括総務	富永 一巳
教務部長	三上 裕
同副部長	館野 弘行
英進科長	竹内 昭夫
生徒指導部長	大塚 晃
同副部長	伊藤 均
進学指導部長	馬場 義浩
就職指導部長	湊谷 浩司
同副部長	畠田 和明
養護教諭	黒須美代子

《第一学年》

総務	阿部 克美
主任	千代野 仁
副主任	白石 一徳
生徒指導	根本 哲也
学級担任	
一組	染野 幸弘
副担任	安達佳奈子
二組	高橋 伸夫
三組	阿部 陽介
四組	坂巻 敦志
副担任	岡嶋 陽子
五組	小林 秀晃
六組	富田 健作
七組	住森 克己
八組	田島 基行
九組	守谷 淳子
十組・十一組	笹沼 芳孝
十二組	南木 和喜
十三組	田村 伸也
学年付	星野 英雄
学年付	石井 隆詞

《第二学年》

総務	岩泉 徳栄
主任	荒川 喜昭
副主任	長谷川 聡
生徒指導	渡辺 誠
学級担任	
一組	森本 浩雅
副担任	菊地 幸子
二組	荒井 祐也
副担任	梶川 崇
三組	関塚 貴光
副担任	田中 恵

《第三学年》

総務	山口 和正
主任	大越 研介
副主任	小菅 光春
生徒指導	直井 秀幸
学級担任	
一組	佐藤 史徳
二組	福田 和弘
三組	雪野 賢
副担任	田中可代子
四組	中根 雅之
副担任	木村 憲子
五組	野口 秀敏
六組	森 玲子
七組	金子 真一
八組	河上 倫典
九組	加藤 総明
十組・十一組	尾田 大輔
十二組	船木 勝
十三組	伊沢 修一
学年付	新井 隆義
学年付	野村 勇司

# 生徒会がどうなれば

こんにちは。金環日食の美しさを目を奪われた生徒会長の小森です。先日、ここ文星でも金環日食が観測されました。何でも非常に珍しい現象だそうです。一生に一回見られたただけでも幸せです。

昔の人は「月は満月だけを賛美すべきだろうか？」と言って、雲のかかった月や、木の間からかいま見られる月の美しさを述べています。今回のように太陽に

寄り添う真つ黒な月も情趣がありますね。

かの文豪、夏目漱石の「今宵は月が綺麗ですね。」という名告白をご存じでしょうか。私もこの機会に！と思いましたが、男子校ではどうしようもないですね(笑)。

話は変わりますが、本校の生徒会にも一年生が加入し、ついに生徒会が本格的に活動し始めました。近いところでは「新入生歓迎体育大会」が実施されます。種目はみんな大好きドッチボールとバレーボールです。「なでしこJAPAN」に憧

れてサッカーを始めた方はごめんなさい。サッカーは今年の種目から外れました。

本校は男子校ですので、「ライオン主義」を胸にドッチボールにバレーボールに張り切っていきましょう。

では、皆さんの奮闘と勝負運を期待しています。果たしてツキはどのクラスにまわってくるのでしょうか。



## 語学留学(イギリス)

語学研修に参加して

二年一組 野口 大樹  
三月二十五日から四月二日まで、イギリスに研修に行った。初めての飛行機や、初めて会う仲間、行きはとて緊張したが、飛行機のなかでは終始リラックスできた。

飛行機で十二時間ほどの長い時間乗って、やっとイギリスに到着した。日本時間十時で出発したのに、着いた時間が昼頃だったので、少し不思議な感覚におそわれた。そこから、バスで、自らが泊まる寮へ行った。その寮には七日間くらい

滞在した。そこにいたイギリス人の方々は、とてもユニークな人があって、とてもなじみやすい人達で、まさにイギリス人の典型みたいな人達であった。

イギリスは、とても自然豊か、土が見えているところがほとんどなく、ほとんどが芝生でおおわれていた。自分達は、英語を勉強したり、サッカーの母国ということ

でサッカーをしたりした。イギリスでは、サッカーとは言わずフットボールと言うらしい。

研修中の一番の思いでは、オックスフォード大学を見学しに行ったことだ。オックスフォード大学は、とて



も伝統がある大学で、古い建物もたくさんあった。そこで、大学生の話を聞いた。大学に入学するのは簡単だが、卒業するのは難しいらしい。

最終日は、ロンドン観光に行った。ロンドン五輪前ということで、とても盛り上がりつつあった。テムズ川は思ったより汚かった。

将来は、このイギリスでの経験を生かし、国際舞台で活躍できる人間になりたい。

## 一日の旅



五月七日(月)、一日バス旅行が行われ、生徒たちは27台のバスに分乗し賑やかに千葉県・東京デイズニースーに向かいました。

園内は、連休明けということもあり混雑はなく、生徒たちはお目当てのアトラクションに次々に乗ることができたようでした。また、春の花であふれる園内を新学期から新しく友達になったクラスメートと探索したり、家族へのおみやげを買ったりと、約五時間の滞在をめいっぱい楽しんでる様子が見られました。

五月二十一日(月)の金環日食を、中高一貫棟三階テラスを開放し、中学生と高校生と一緒に観測しました。高校生は定期試験があるにも関わらず六時半には数名の生徒が登校して、待ちきれない様子でした。中学生は授業で手作りした日食グラスを手に歓声を上げていました。

木の枝の木漏れ日が、三日月やドーナツの形に変わるのを、生徒達は不思議そうに見つめていました。

## 高等学校新任教職員の紹介



藤田 泰  
数学科  
(英進科専任)

伝統ある文星芸術大学附属高等学校に数学科教諭としてお世話になることになり、四月に着任しました。

着任早々に、校内のあらゆる部屋に校訓である三敬精神「一、自己を敬へ 一、他人を敬へ 一、仕事を敬へ」とライオン主義の扁額が掲げられているのに気付きました。我々人間が社会の中で生きてゆく上で様々な原則があるわけでありませんが、その中で最も基本的で大切なものとして「敬」(うやまい、つつしみ)があるとする処に感じ入りました。また、その扁額の前で、すべての生徒が先生方に対し、よく挨拶をするのを見て、三敬精神の実践の一端と感心いたしました。

生徒の皆さんには日々、三敬精神とライオン主義を実践し、何があろうとも全てのものを敬い感謝し、目を輝かせ、目標に向かって懸命に努力する。そのような学校生活であって欲しいと願っております。



小口 一夫  
事務職員

文星芸術大学より高等学校の事務室へ今年の四月に異動となり、早いもので二ヶ月が経とうとしています。本校に来て感じたことは、生徒の皆さんが元気よく挨拶をするということです。廊下ですれ違う時などに、明るい挨拶を聞くと今日も頑張ろうという気持ちになります。また、本校では清掃の時に職員と生徒が互いによく声を掛け合って作業を行っており、コミュニケーションが良くとれている学校であると感じております。

私が勤務しております事務室は、学校運営のための様々な業務を行っており、その内容も非常に専門的なものであり、学校に欠かせない存在です。事務室では少人数で働き、業務を処理しており、驚きを感じることも多々あります。私も文星芸術大学附属高等学校の一員として一つひとつの業務を誠実にこなし、生徒の皆さんとともに成長していきたいと思っております。

輝け! 文星健児
部活動報告

四・五月に県内各会場で
行われた栃木県高等学校総
合体育大会(以下県総体)の
主な結果をご報告します。

テニス部

ダブルス一位、二位独占
団体とともに関東大会へ

四月十六日(月)に行われ
た県総体ダブルス決勝戦で、
山口優紀・柿沼拓実(共に普
二年)組と竹村健太(英三年)・
阿久津亮太(普三年)組が対
戦した。両ペアともに、強豪
足工大附属を下しての決勝
進出であったが、山口・柿沼
組が優勝した。また団体の
部でも準優勝を果たし、関
東大会出場を決めた。

陸上競技部

安達・田代両選手活躍
投てき2種目で関東へ

五月十二日(土)から行わ
れた県総体において、安達
卓也選手(普3年)が円盤投
げで優勝。同じく田代美砂
希選手(普3年)が2位に入
賞した。両選手は砲丸投げ
でも上位入賞を果たし、六
月十五日(金)から群馬県で
開催される関東大会出場を
決めた。

卓球部

団体・ダブルス準優勝
関東大会出場

五月三日(木)から行われ
た県総体において、本校卓
球部は団体で準優勝を果た
し、六月二日(土)から神奈
川県で開催される関東大会
出場を決めた。また、ダブル
ス準優勝の迫田樹(普一年)・
井坂秀俊(普一年)組、シン
グルス3位の迫田選手、同
じく8位の菊地真澄選手(普
一年)も関東大会出場を決
めた。

バスケットボール部

県総体準優勝
関東大会へ

五月十二日(土)、十三日
(日)に行われた県総体決勝
リーグで、本校バスケット
ボール部は2勝1敗で準優
勝を果たし、関東大会への
切符を手にした。関東大会
は六月二日(土)から群馬県
で開催される。

剣道部

戸塚選手3位入賞
団体とともに関東大会へ

五月十三日(日)に行われ
た県総体個人戦で、戸塚塚
洗紀選手(普三年)が3位入
賞を果たし、六月八日(金)
から山梨県で開催される関
東大会出場を決めた。また、
団体も4位に入賞し、関東
大会に駒を進めた。

柔道部

団体4位入賞関東大会へ
五月五日(土)に行われた

県総体団体戦で、本校柔道
部は4位入賞を果たし、六
月一日(金)から神奈川県で
開催される関東大会の出場
を決めた。

将棋部

県大会団体戦準優勝
四月二十八日(土)に行わ

れた全国高等学校将棋選手
権県予選にて、本校将棋部
は2年連続準優勝を果たし
た。また、個人戦では多くの
予選通過者を出した。今後
の活躍が期待される。

インターアクト部

植樹ボランティア参加
四月二十一日(土)、本校

インターアクト部は第17回
春の植樹デー(足尾)に参加
した。部員達は660段の階段
を額に汗しながら上り、折
りを込めて苗木の一本一本
を植えた。目標の10万本達
成まで、インターアクト部
の挑戦は続く。

美術デザインコース大橋君

まんが甲子園優秀賞
五月六日(日)、文星芸術

大学が後援している第2回
デジタルまんが甲子園の公
開審査会が宇都宮市で行わ
れ、本校の大橋直生君(三年)
の作品「ラクカキ」が、審査
員の高い評価を受け、優秀
賞に輝いた。

検定試験取得状況
(五月現在)

Table with columns for exam types (e.g., 第130回日商簿記検定, 第106回全経電卓検定) and student names with their scores.

文星散步道
(題字 大木副教頭)

二〇〇八年六月七日。パ
レーボールの北京オリン
ピック・男子最終予選が東
京体育館で行われ、日本は
アルゼンチンに3-2で勝
つて、最上位を確定させ北
京オリンピック出場を決
めた。日本男子のオリンピ
ック出場は、一九九二年の
バルセロナオリンピック以
来、実に16年ぶり。試合
はフルセットでジュース
にもつれ込む熾烈な戦い
となったが、日本はアルゼ
ンチンのマッチポイント

オリンピッククイヤー
理科 小林秀晃

を三度もしのぎ、悲願のオ
リンピックへの切符を獲得
した。勝利が決まった瞬間、
植田辰哉監督がコートにう
つ伏せ、大の字に倒れるこ
う雄叫びを上げたのは大変
印象的なシーンであった。
植田監督は二〇〇五年か
ら男子代表の本格的な指導
を始め、朝食をとらなかつ
たり、茶髪だったり、挨拶が
できなかつたりした選手を
基礎から鍛え直し、厳しい
練習や筋トレを選手たちに
課して16年ぶりのオリンピ
ック出場へ導いた。

# 中学校

## 新年度を迎えて



校長 副 野 敬 子

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。男女共学となり、二年目を迎えました。今年度は男女各十八名、計三十六名を迎え、新年度がスタートいたしました。新緑の美しい季節となりましたが、新入生の皆さんは、そろそろ学校生活に慣れてきたところではないでしょうか。まだまだ、不安や心細さなどもあるでしょうが、先輩方の姿を見て、一日も早く学校生活に慣れていただきたいと思います。百名近い生徒が勉学やスポーツに励んでいる姿は、とても明るく、活気あふれるものです。また、附属ならではの明るさ、礼儀正しさなどは、いつ見ても美しいものです。

さて、本校は、生徒自身のやる気次第でその力を存分に発揮できる環境にあります。

す。本校の校訓である三敬の教えは教育の柱です。

- 一、自己を敬へ
- 一、他人を敬へ
- 一、仕事を敬へ

ここでの「敬」は大切にすること、ということの意味です。「自己を敬へ」とは、自分を大切にすることです。「他人を敬へ」とは、自分を大切にできる人は、他人の気持ちになって、物事を考え、他人の立場に立って人と接することができるということです。「仕事を敬へ」とは、自分や他人を大切にしていること、皆さんの本業である、勉学にスポーツに一生懸命取り組むことができるということです。これらの教えのバランスがとれて初めて、「三敬の教えを体得、実践しているということになります。

また、校是である「ライオン主義」はどんな場面においても、全力を尽くすということ、この「ライオン主義」を実践することは、夢の実現への近道です。

私たち教員は、生徒の皆さんの夢の実現のため、最大限の手伝いをしていきます。生徒の皆さんは、校訓・校是を一日でも早く体得実践できるように日々精進してください。

## 高みを目指す



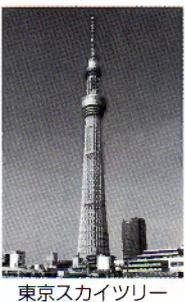
副校長 中 山 一 郎

「高み」とは文字通り高いところ、高い場所をさす。動物にとつては物理的に「高いところ」であり、そこは獲物を見つける所であったり、また時には敵から逃れる所でもある。

ライオンは時にヒヨウの子どもを獲物として狙うという。母ヒヨウはライオンとは決して戦わず、高い木の上に子をつれて逃れる。ライオンは、その高みまでは登れないから、やがて諦め去っていく。野生動物の世界は、常に喰うか喰われるかであり、人間のように地位の高さや財産の多寡、学力の高さなどによる「面子」など考えないし、そんな余裕もない。

というように、人にとつての「高み」は物理的のみならず、精神的なそれがけっこう大きな位置を占めるから話が複雑になる。

世に「塔」と呼ばれる高い



東京スカイツリー

建物がある。実際に物理的に高いものであるが、そこは人が造ったもの、精神的な用途が重要となる。例えば、仏教圏でいえば、「ストウパー」・「五重塔」である。また、キリスト教では教会の「尖塔」であって、長期間かけて(時には百年以上も)建造される。バルセロナの「サグラダファミリア聖塔」は、千八百年代後半に建造が始められ、設計者のガウディが一九二六年に亡くなった今も建設が引き継がれ、現在も「工事中」だそうである。これらの塔はいずれも自分がそこに登るわけではない。天を仰ぎ、精神的な高みをめざすのである。

スカイツリーが開業した。電波塔としては世界一の高さという。世界二三位でこれだけの注目度が高まっただろう。これも我々が日本人の「精神的な高み」でもあるからである。

生徒諸君には、ぜひ運動面でも学習面でも「自分の高み」をめざしていただきたい。

## 新年度に思う



第1学年主任 横 山 恵 子

今年度は冬の寒さがいつまでも続き、桜の便りも遅れがちでしたが、初々しく元気いっぱい的一年生三十六名を迎え、文星中も新たなスタートを切ることができました。

初めて女子生徒を迎えるにあたっての緊張と抱負を、昨年度の「ナウ！」でお伝えしたことが思い出され、一年間という時間の短さを改めて感じていきます。

今年度の新一年生も先輩達との宿泊学習を終え、ずいぶん文星中生らしくなってきました。共学化二年目ということ、女子の先輩もいますから心強いことと思います。これから勉学や運動に励み、自ら考え行動する生徒になってください。

今年一年が実りある素晴らしい一年となりますよう、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## 新年度になつて



第1学年副担任 村 仁 寿

学校生活にも慣れ、勉強に、部活動に毎日楽しく過ごしているみなさんの姿を見ていて、とても微笑ましく思います。一年生の副担任は初めての経験なので、緊張していましたが、とても明るく、元気でユーモアあふれる生徒達に出会え、楽しく学校生活を送らせてもらっています。

私が学生時代悩んでいたときに、「やめたいな」と思っている時が一番成長している時なんだ!と部活の監督から言われたことがあります。全力で何かに取り組んだ時、一度は壁にぶつかることがあると思います。そんな時は、自分に言い聞かせて、もうひと踏ん張りしてみてください。きっとその先に何かがあるのだと思います。私もみなさんと共に日々成長していきたいと思っています。



1年1組担任  
榎 山 英 樹

五年ぶりの中学生の担任に加え、自身初となる共学クラスを受け持つことになりました。年度当初は戸惑いとプレッシャーがありましたが、前向きで明るい生徒に囲まれ、楽しい毎日を送らせてもらっています。

新しい学校生活に期待と希望に胸を含ませる反面、慣れない環境の中で、何もかもが初めての経験に緊張と不安を覚えていた生徒達も少しずつ学校生活に慣れ、宿泊学習を境に文星中の生徒としての自覚が芽生えてきました。

生徒達自身で考えたクラスの見方は「一致団結」。生徒一人ひとりがお互いの個性を認め、自分の個性・能力が発揮できるように、きつとまとまりのあるクラスになるはず。一年後、生徒達があげた目標が達成できるように、担任として生徒の成長をサポートしていきたいと思えます。



1年2組担任  
齋 藤 淳

とにかく元気がいっぱい的一年二組。入学式後の緊張した表情が既に懐かしい程です。入学から一週間も経たないうちに、学校や友達、先輩にも打ち解けた様子で、「中学校生活に慣れるまでには時間がかかるだろう」という私の予想は見事に外れました。圧倒的な順応力で人懐こい笑顔を見せ、伸び伸びと元気に過ごしている姿を見ると、私も負けていられないぞという気持ちにさせられます。皆の弾ける笑顔を見るのが毎日とても楽しみです。

五月に入ってから、段々とオンとオフのけじめもつけられるようになってきましたね。勉強も部活も生活も「何事も全力で！」という約束を守ってくれる皆さん、進級をする頃にはきつと目覚ましい成長を見せてくれることでしょう。皆で決めた「One for All, All for One」という学級目標をいつも心に、良い一年を送りましょう。

文星中に入学して

新しい生活

一年一組 黒田 燎

今まで仲が良かった友達と別れる悲しみや、友達ができるか、勉強についていけるか、通学は大丈夫かと色々な不安を持って入学した。ついに中学生になったのだ。

入学する前の不安も、今ではすっかりなくなりました。今は、これからの中学校生活にワクワクドキドキしている。無事に中学校生活がスタートできて良かった。新しい先生にも慣れ、毎日がとても楽しく充実した生活を送っている。

これからは、勉強も大変になってくると思うが、それを乗り越えてがんばっていききたい。どんなに大変なことでもあきらめずに挑戦していきたい。そんな中学校生活を過ごすために、先生の話をしっかり聞き、家での勉強を工夫してやり、何事にも挑戦する気持ちを身につけようと思う。無理せず毎日楽しく過ごすのを一番とし、校訓とライオン主義に励んで生活していきたい。

中学校新任教員の紹介



大野 薫  
教頭 美術科

この四月から、歴史と伝統に輝く、学校法人宇都宮学園の職員に加えさせていただきます。「自己を敬へ、他人を敬へ、仕事を敬へ」、

崇高な建学の精神のもと、生徒一人ひとりに手厚く、人格形成をめざして熱心に指導にあたる先生方を目の当たりにし、身の引き締まる思いがしています。

着任して二か月、充実した教育環境の中で、明るく意欲に満ちた生徒とともに生活し、日々そのすばらしさに触れ、心が洗われる思いです。授業に向かう真剣な姿、宿泊学習で所員の先生の説明に集中して耳を傾ける姿、所員の方々から称賛のお言葉をいただき誇らしく感じました。

三敬精神は、創立百年を経てなお新しく、自らを省みながら、夢をもって本校の門をくぐり切磋琢磨する生徒たちとともに歩んでいきたいと思えます。よろしくお願いたします。



吉澤 政夫  
音楽科

縁あって、今年度四月より、文星芸術大学附属中学校の音楽担当非常勤講師として勤務することになりました。入学式より中高の生徒に接して感じる事は全員素直で真面目であることです。また、学校全体が落ち着いた雰囲気、挨拶がよく出来、一人一人に意欲が漲っていることも強く感じています。私は長年、公立中学校の教師として卒業生を前身の宇都宮学園当時から受け入れてもらい、立派な社会人に育てていただいていたのですが、現在の学校の発展には驚かされました。

これは、理事長先生を始め校長先生、そして関係の先生方の弛まない努力と工夫、愛情ある指導の賜物であると確信しています。

週一日、中学校音楽の指導ではありますが、表現することの喜び、聴くことの大切さを学ばせる授業を心掛けたと思いますので、よろしくお願いたします。

地区春季大会結果

五月十七日(木)から二十日(日)までの期間で、宇河地区春季大会が行われました。本校からは、剣道部(男女)、ソフトテニス部(男女)、卓球部(男子)、バスケットボール部(男女)が参加しました。大会結果の一部を報告します。

県大会出場おめでとう

女子剣道部の渡邊千優さん(二年二組)が県大会出場を決めました。六月一日(金)からの県大会での活躍を期待しています。

《剣道部》

個人戦

坂田 拓海 三回戦  
渡邊 千優 ベスト32

《ソフトテニス部》

団体戦

男子 対 鬼怒中 一回戦  
女子 対 本郷中 一回戦

個人戦

森川・辻組 三回戦

《バスケットボール部》

男子 対 陽東中 一回戦  
女子 対 鬼怒中 一回戦

### 宿泊体験学習

中学校では、四月二十六日(木)から二十八日(土)の三日間、二泊三日の日程で、なす高原自然の家で宿泊体験学習を行いました。

残念ながら天候には恵まれなかったものの、生徒の人数が増え、新入生、上級生ともに協力して楽しい時間を過ごせたようです。例年通り一年生から三年生までの縦割りで班編成を行い、学年の枠を越えた交友関係を築くことができました。

#### 生徒の感想

##### 宿泊学習で学んだこと

一年二組 薄羽 珠ノ介

僕は、この宿泊学習で先輩と後輩の上下関係を学びました。例えば、二日目に行ったうどん作りでは、先輩が率先して指示を出して、役割分担などをしてくれました。そのおかげで僕たち後輩は迷わずに決められた役割を果たす事ができたのだと思います。そして、先輩の言ったことを僕たち一年生がきちんとやっつけていなければうまく活動出来ないことが分かったので、良く話を聞くことの大切さも分

かりました。今回の宿泊学習では先輩たちのリーダーシップも間近で見ることが出来ました。先輩たちは色々な活動を通して僕たち一年生をまとめて色々な事をしてくれました。キャンプファイヤーでは、司会や進行をしてくれたり、場を盛り上げたりしてリーダーシップをとってくれました。楽しく盛り上がる場所は楽しんで、まじめにするところは真剣にやるということが大切なのだと思えました。そう思った理由は、キャンプファイヤーにあります。第一部の時には、誓いの言葉を班ごとに言ったり、静かな雰囲気の中で歌を歌ったりしました。でも、第二部では各学年の出し物などで、すごく盛り上がり、とても楽しかったです。楽しくやっつけて良いときと、まじめにやるべきのけじめをしっかりとつけることが大切だと思えました。これは普段の学校生活の中でも同じことがいえると思います。

今回学んだことを、これからの生活に取り入れて今までよりも充実した学校生活を送れるようにしたいと思います。

##### 宿泊学習の思い出

一年二組 柳沼 萌加

宿泊学習では色々な活動を楽しみましたが、どれも楽しかったです。その中で特に心に残っている活動が二つあります。

一つ目はうどん作りです。とても本格的だったのでピツクリしました。うどんは粉から練り、足で踏みました。それを伸ばして切り、茹でて食べます。うどんの生地はいっぱいこねて、最後はとても柔らかくなっていました。私が一番楽しかったのは踏み場所です。メロンパンのようにした生地を袋に入れて足で踏むのですが、教えてくれた先生が、「たくさん踏めば踏むほど良いうどんが出来ると」と言っていたので、出来るだけたくさん踏みました。疲れたけれど、楽しかったです。切る工程では包丁が大きくてピツクリしました。太さがバラバラであまり上手に切れませんでした。最後に茹でて食べましたが、頑張ったかいがあって、とてもおいしかったです。来年もうどん作りがあれば良いと思います。

二つ目はキャンプファイヤーです。盛り上がり方がびっくりしました。各学年の出し物がとてもすごかったです。私たち一年生は校歌と39ジャンケンをやりました。私たちはまだ校歌がうる覚えでしたが、先輩方が一緒に歌って下さいました。先輩方がのってくれるのか心配でしたが、歌ってすぐのってくれたので嬉しかったです。二年生は劇を見せられました。最近のTVドラマを色々組み合わせた劇でした。全部見ていたドラマだったので、コロコロ場面が変わっていく劇から目が離せませんでした。そして一番盛り上がったのは、三年生のときです。手品を見せてくれました。最後はダンスも踊ってくれました。三年生の後について、火の回りをみんなで周ったりしました。とても楽しかったです。

##### 宿泊学習

二年二組 福田 由紀

今回の宿泊学習は、私にとって昨年とは全く違うものでした。その中でも最も大きな違いは、先輩となり実行委員になったことです。昨年の宿泊学習では、あまり自分で考えて動くことをしていませんでした。だから今年は、自分で考えて動くために、先輩として思いました。そこで実行委員会に入りました。すると、副実行委員長にまでなっていました。最初は、軽い気持ちで入った委員会でしたが、副委員長になったことで、頑張らなくてはいけないなとかんじました。特に、副実行委員長として委員長の役に少しでも立てるように考えて行動しました。また、何かを決める時には、委員の人たちと様々な意見交換をしました。でも、先輩方や先生方を頼ってしまったり、予定通りに行かなかったところがあったり、打ち合わせが不十分な点もありましたが、みんな楽しそうに活動していたのでうれしかったです。

個人的には、二日目の夜にアメリカでのホームステイの発表という事で、皆さんの前でパワーポイントを用いて説明をした。とても緊張したが上手くまとめられて良かったと思う。

##### 宿泊学習

三年一組 齋藤 祐樹

今回、宿泊学習の実行委員長として、宿泊学習の体験活動に貢献できた。まず、しおり製作を生徒達だけで行い、文章作成から印刷まで全て行った。これは、一、二週間ほどかかりとても大変な作業だった。また、事前オリエンテーションの説明を実行委員全員で行って生徒達に活動内容を分かってもらうよう努力した。

特に、うどん作りでは班員で協力し合って作ることができ、三時間もかかったが、とても印象深い活動だった。二日目の夜はキャンプファイヤー。各学年で盛り上げる事ができた。今回の宿泊学習で実行委員として働けたことは色々な面で印象に残った。

### 第10期 生徒会役員



会長	3年3組	小森	信之	之助
副会長	3年11組	御堂	進	翼
//	2年3組	佐々木	ノ	建
総務	3年6組	加藤	友	貴
//	3年6組	阿久津	祐	馬
//	2年5組	清徳	祐	太
//	1年3組	舞本	祐	巧
//	1年4組	舞本	祐	広
庶務	3年6組	小川	貴	馬
//	3年9組	結城	拓	弥
//	2年8組	鶴田	雅	彦
//	1年13組	船山	光	涼
会計	3年12組	大塚	哉	平
//	2年10組	木内	哉	輝
会計監査	3年11組	大木	悠	也
//	3年12組	木	達	

## 文星フォトギャラリー

